2024年3月期
決算説明会

2024.05.28

Ⅰ. 2024年3月期 決算概況

Ⅱ. 2025年3月期 見通し

Ⅲ. 事業概況

Ⅳ. TOPICS

Ⅰ. 2024年3月期 決算概況

Ⅱ. 2025年3月期 見通し

Ⅲ. 事業概況

Ⅳ. TOPICS

24年３月期 連結決算概況

（単位：億円）

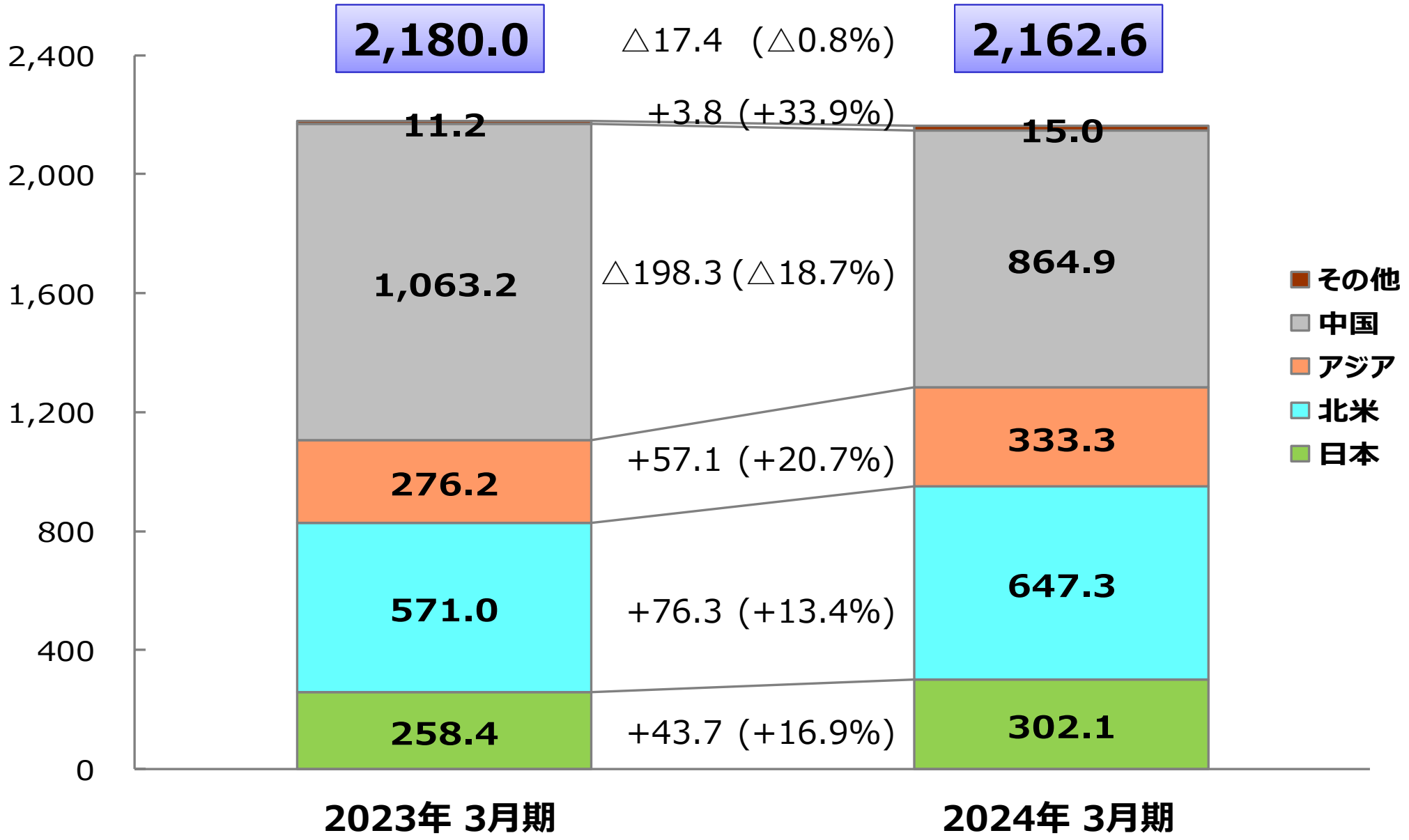
	2023年 3月期	2024年 3月期	増　減
売上収益	2,180.0	2,162.6	△0.8%
営業利益	38.5	111.2	188.6%
税引前利益	49.3	120.2	143.7%
当期利益	16.4	83.8	411.3%
親会社の所有者に帰属する当期利益	14.4	74.5	415.9%
基本的１株当たり当期利益	97.42円	502.62円	405.20円
１株当たり配当金	72.00円 ＊中間 36円，期末 36円	90.00円 ＊中間 40円，期末 50円	18.00円
	($1=¥135)	($1=¥145)	

製品に含まれる貴金属価格下落により減収
実質受注増に加え原材料・輸送費高騰の価格転嫁や費用削減効果等により増益

24年３月期 連結決算概況 地域別売上収益

（単位：億円）

（セグメント間の内部売上収益及び振替高を除く）



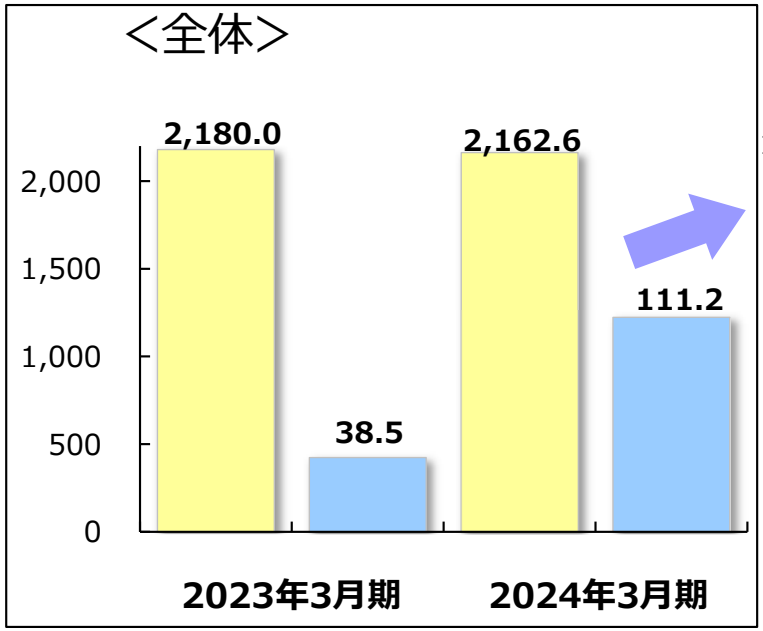
日本･北米･アジアでの増収はあるものの、中国の減収により全体で減収

24年３月期 連結決算概況 地域別営業利益

（単位：億円）

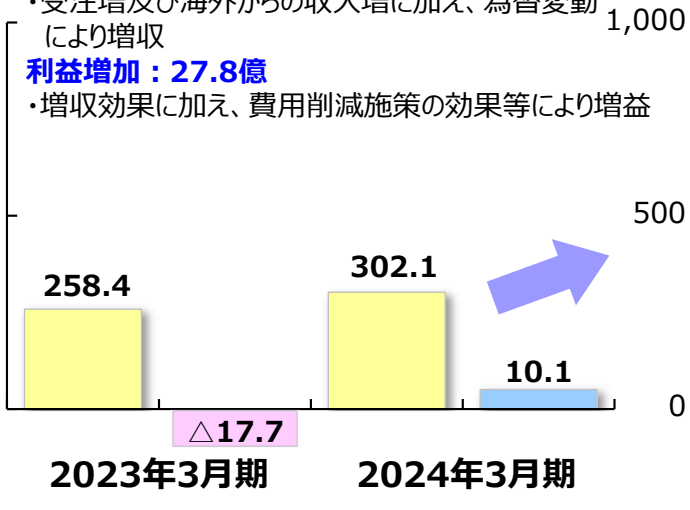
売上収益　利益増減
営業利益　営業損失

＜全体＞



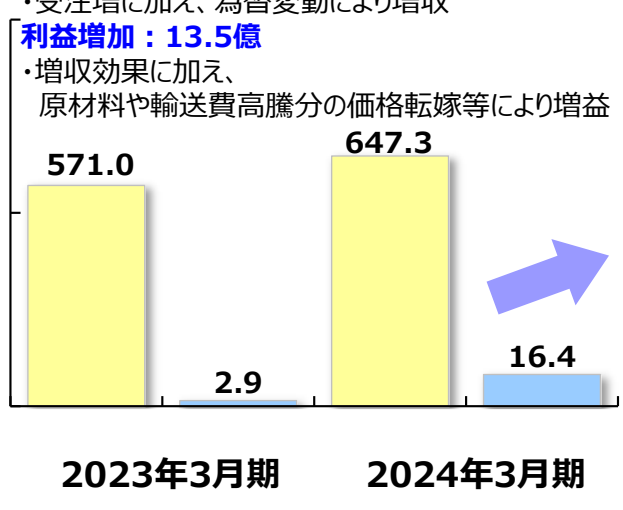
＜日本＞

売上増加：43.7億
・受注増及び海外からの収入増に加え、為替変動により増収
利益増加：27.8億
・増収効果に加え、費用削減施策の効果等により増益



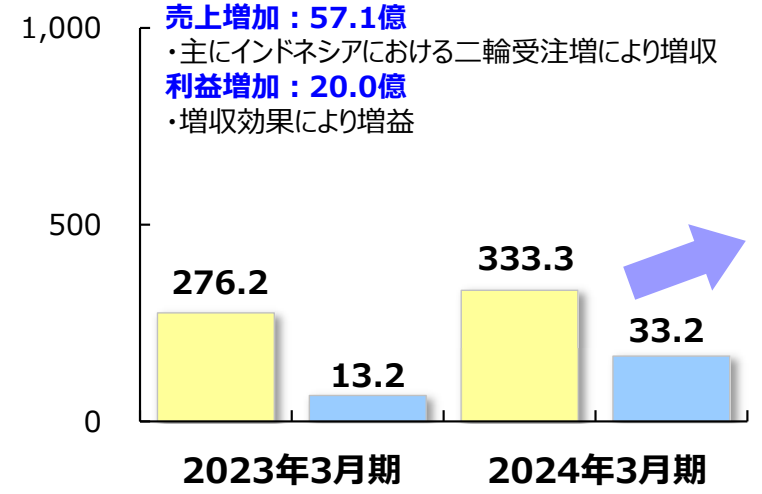
＜北米＞

売上増加：76.3億
・受注増に加え、為替変動により増収
利益増加：13.5億
・増収効果に加え、
原材料や輸送費高騰分の価格転嫁等により増益



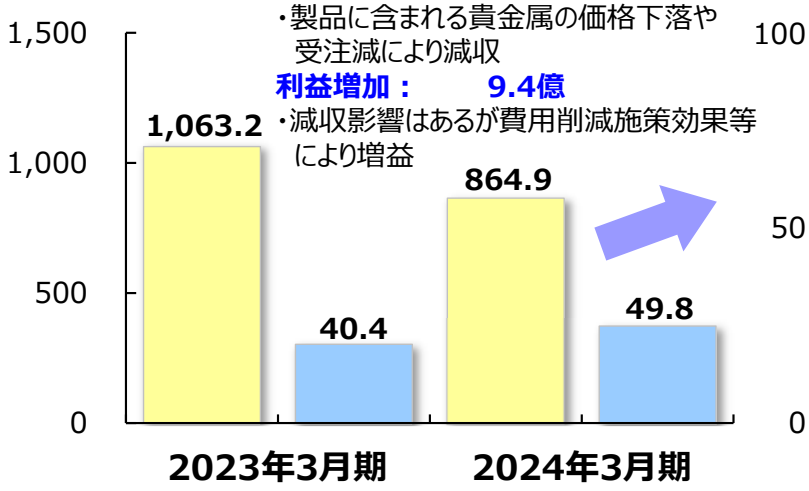
＜アジア＞

売上増加：57.1億
・主にインドネシアにおける二輪受注増により増収
利益増加：20.0億
・増収効果により増益



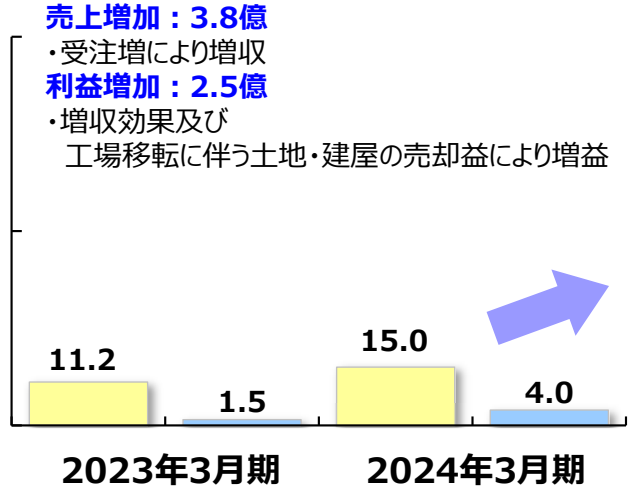
＜中国＞

売上減少：△198.3億
・製品に含まれる貴金属の価格下落や受注減により減収
利益増加：　9.4億
・減収影響はあるが費用削減施策効果等により増益



＜その他＞　（ブラジル）

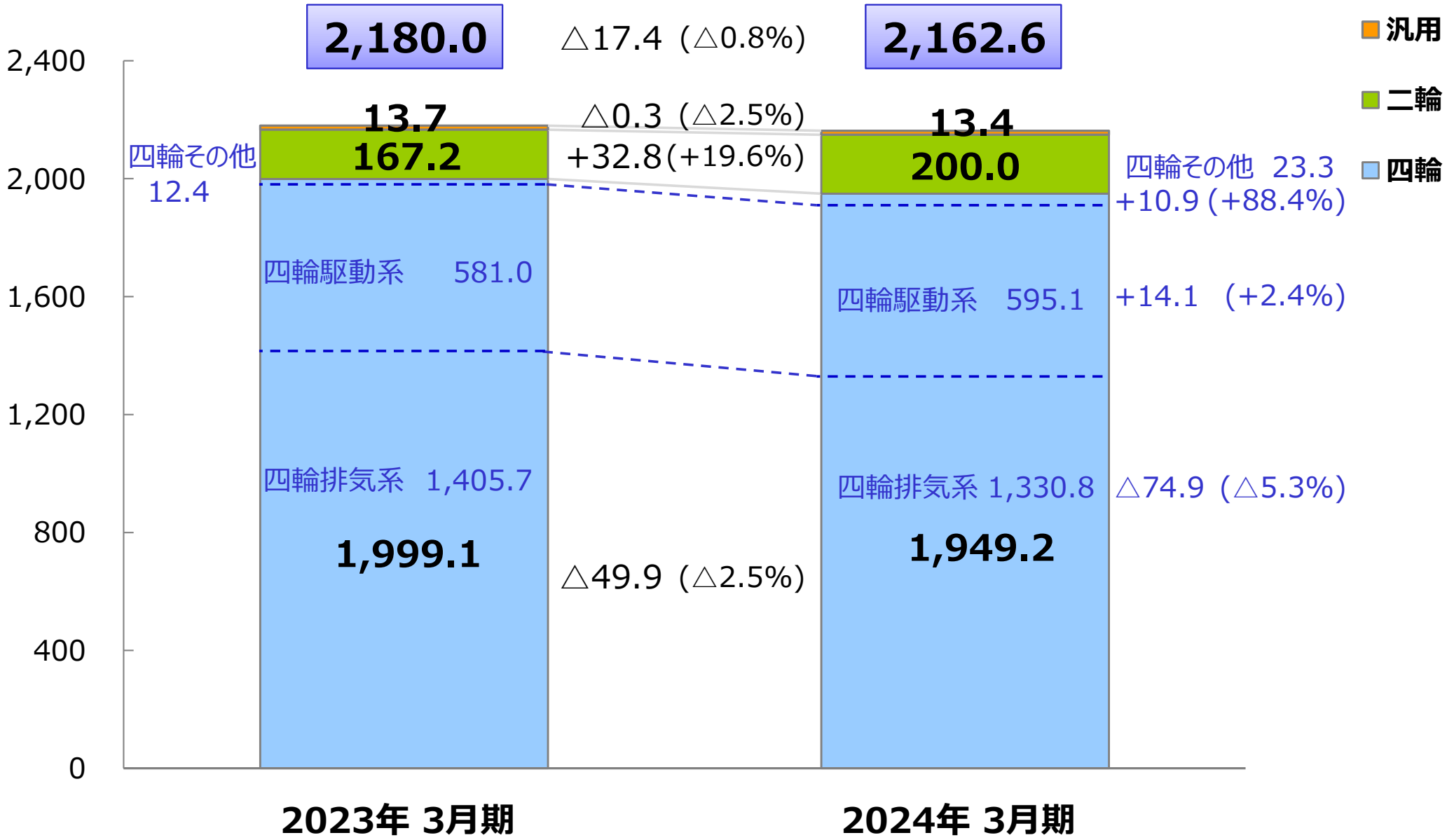
売上増加：3.8億
・受注増により増収
利益増加：2.5億
・増収効果及び
工場移転に伴う土地・建屋の売却益により増益



前期に対し全地域で増益

24年３月期 連結決算概況 製品別売上収益

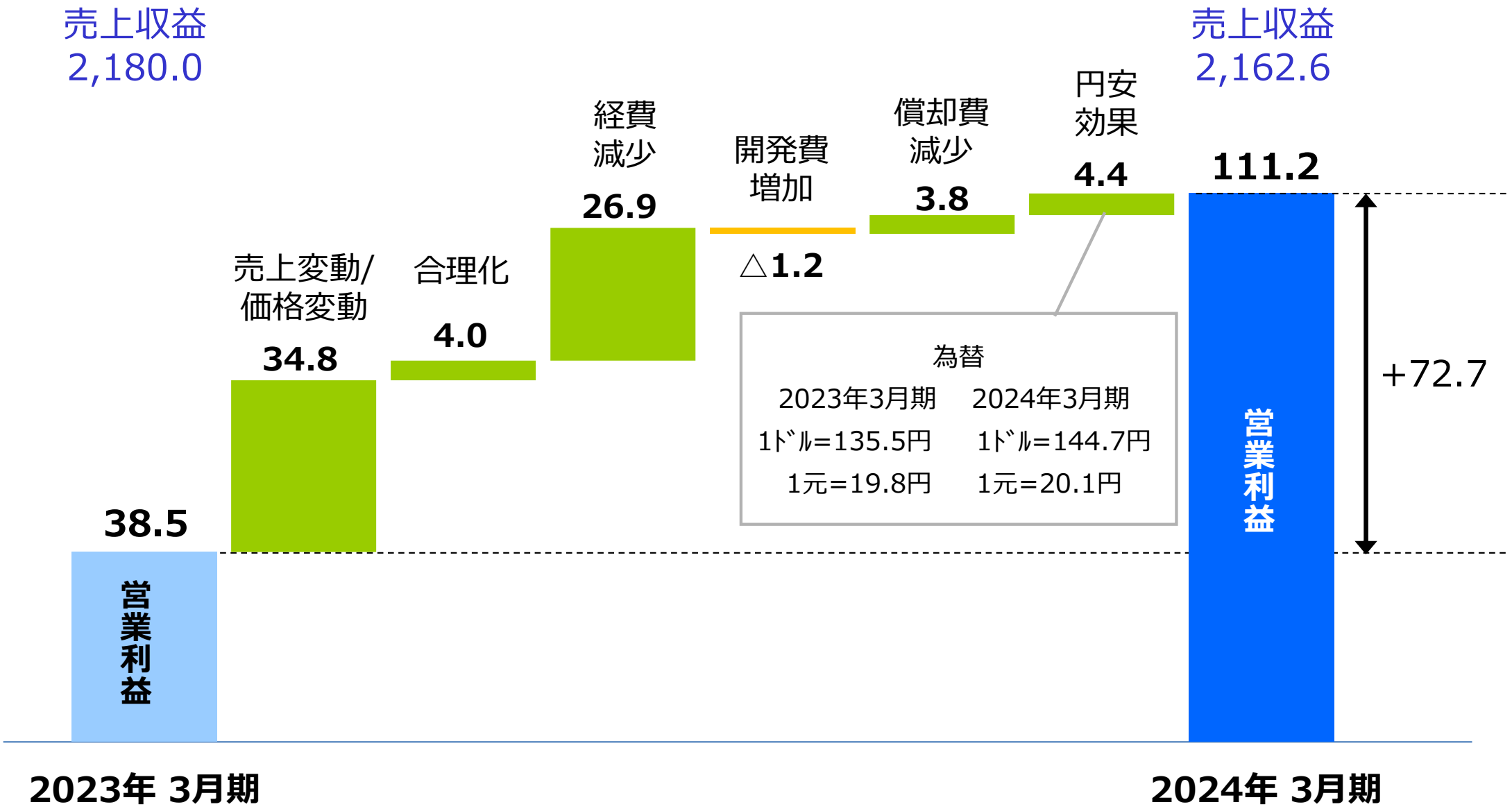
（単位：億円）



主に自動車部品四輪(排気系)の貴金属価格下落影響及び受注減により減収

24年３月期 連結決算概況 営業利益増減要因

（単位：億円）



日本･北米･アジアの受注増加に加えて、
原材料や輸送費高騰分の価格転嫁、費用削減施策及び円安効果等により増益

Ⅰ. 2024年3月期 決算概況

Ⅱ. 2025年3月期 見通し

Ⅲ. 事業概況

Ⅳ. TOPICS

25年３月期連結見通し

（単位：億円）

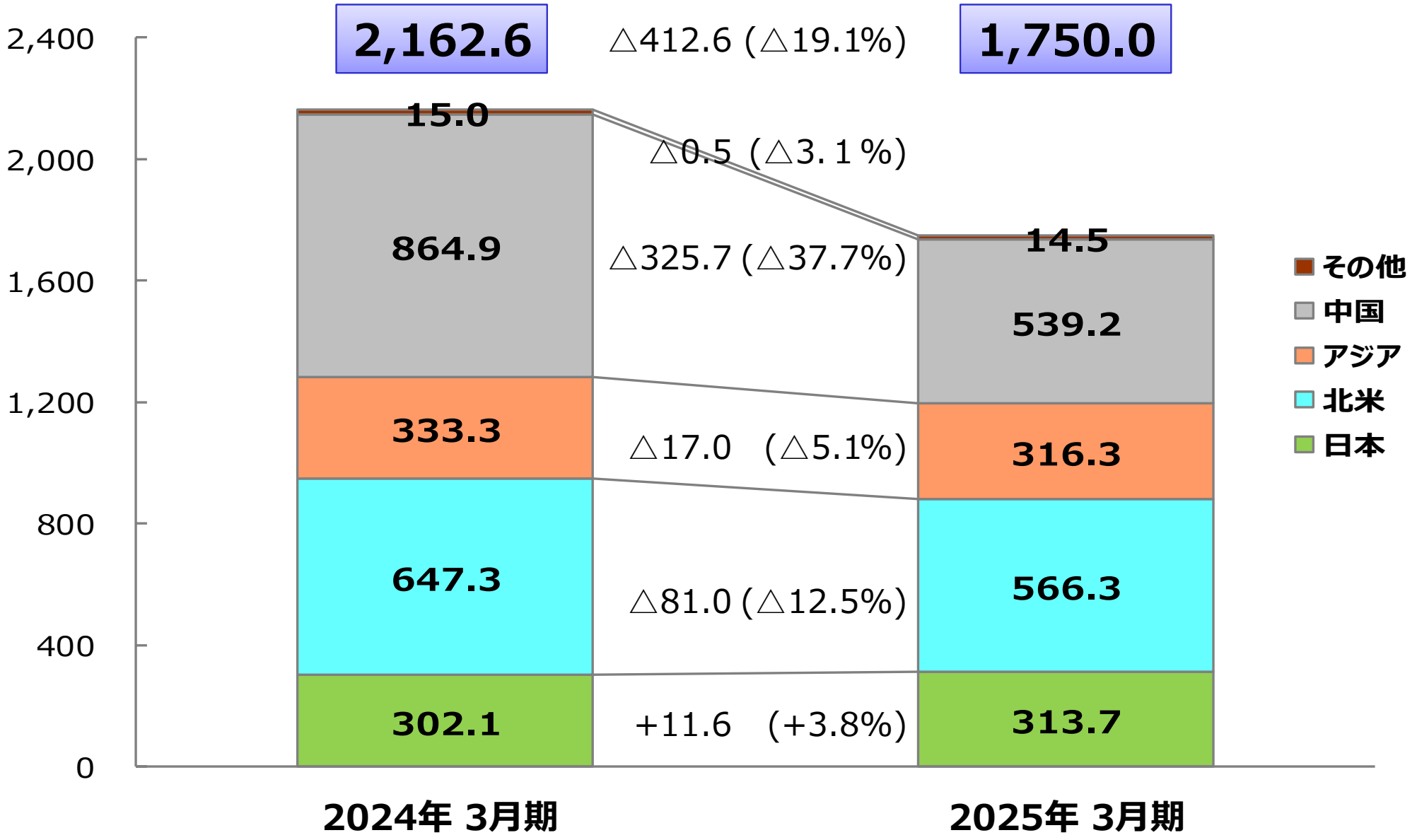
	2024年 3月期	2025年 3月期	増　減
売上収益	2,162.6	1,750.0	△19.1%
営業利益	111.2	61.0	△45.1%
税引前利益	120.2	62.0	△48.4%
当期利益	83.8	33.0	△60.6%
親会社の所有者に帰属する当期利益	74.5	26.0	△65.1%
基本的１株当たり当期利益	502.62円	175.46円	△327.16円
１株当たり配当金	90.00円 ＊中間 40円，期末 50円	72.00円 ＊中間 36円，期末 36円	△18.00円
	($1=¥145)	($1=¥145)	

客先からの受注減により減収
減収影響に加え、労務費･モーター関連費用等の増加により減益

25年３月期連結見通し 地域別売上収益

（単位：億円）

（セグメント間の内部売上収益及び振替高を除く）



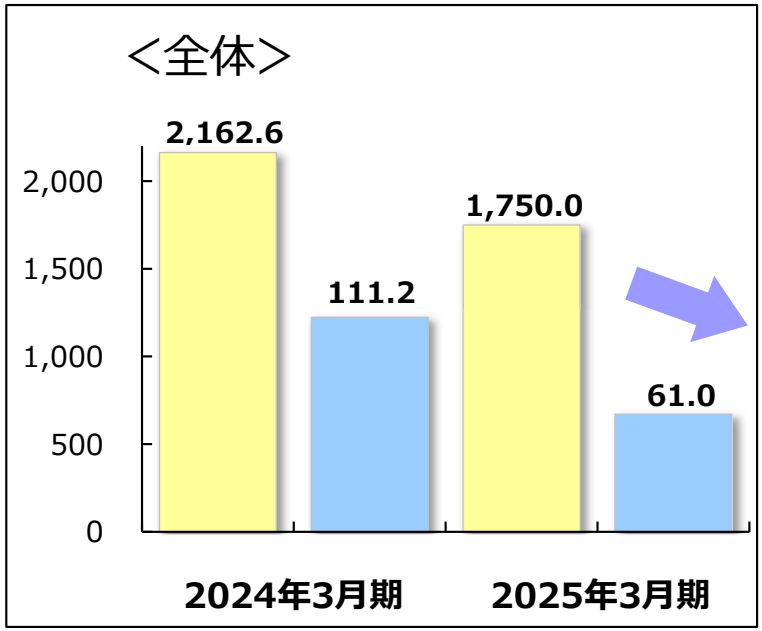
日本以外の地域において客先からの受注減により減収となる見通し

25年３月期連結見通し 地域別営業利益

（単位：億円）

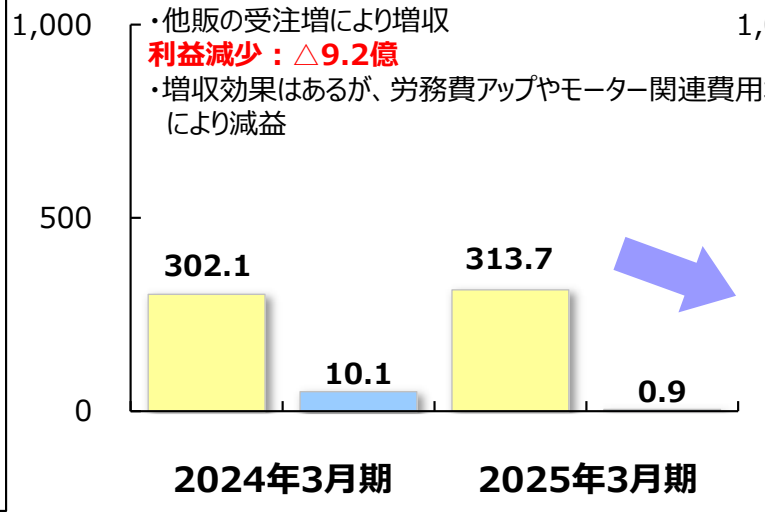
売上収益　利益増減
営業利益　営業損失

＜全体＞



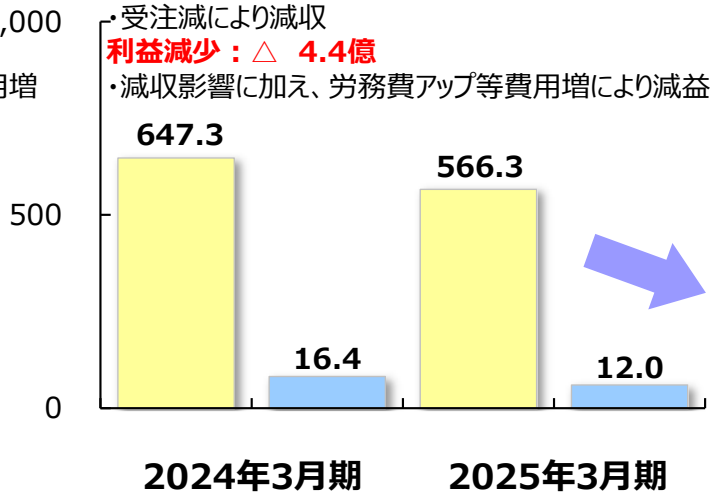
＜日本＞

売上増加：　11.6億
・他販の受注増により増収
利益減少：△9.2億
・増収効果はあるが、労務費アップやモーター関連費用増により減益



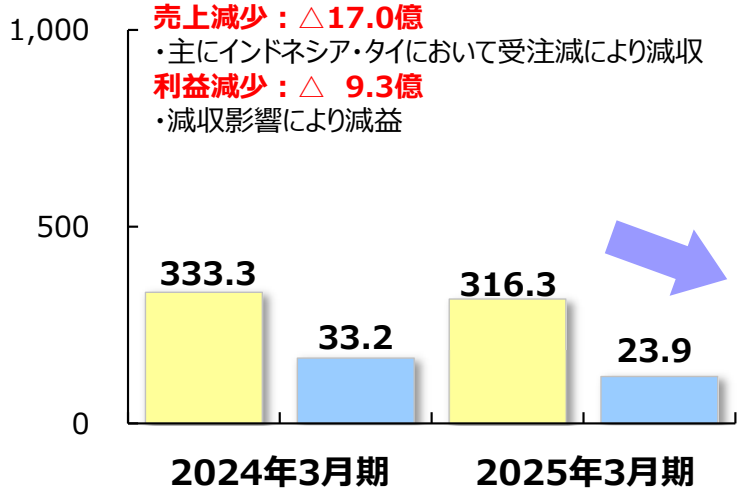
＜北米＞

売上減少：△81.0億
・受注減により減減収
利益減少：△　4.4億
・減収影響に加え、労務費アップ等費用増により減益



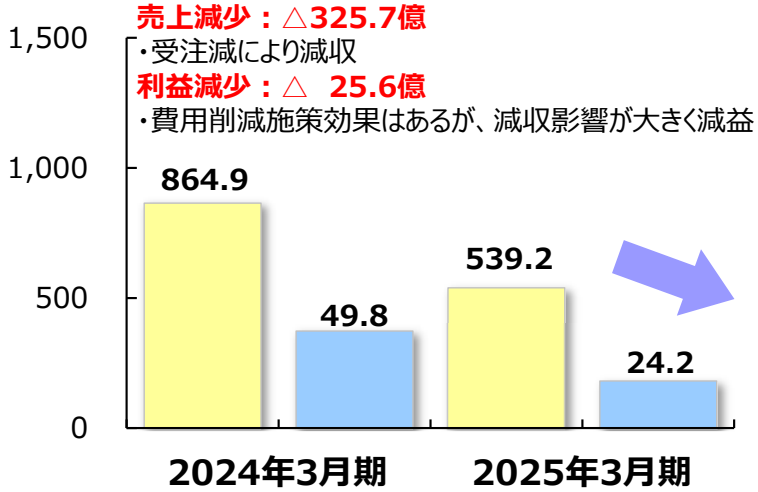
＜アジア＞

売上減少：△17.0億
・主にインドネシア・タイにおいて受注減により減収
利益減少：△　9.3億
・減収影響により減益



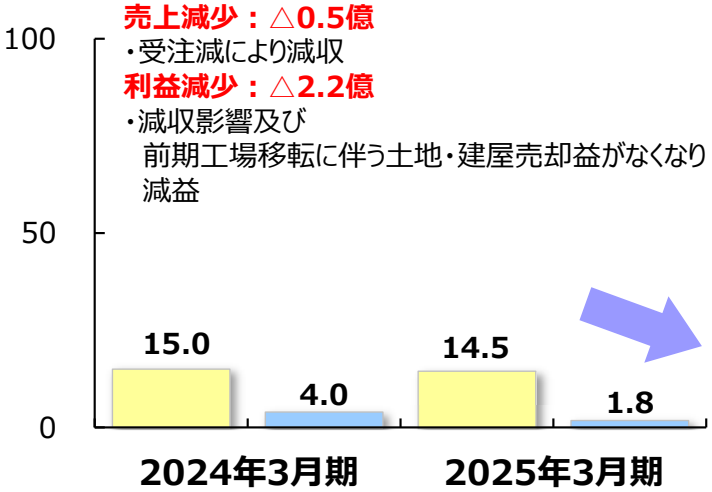
＜中国＞

売上減少：△325.7億
・受注減により減収
利益減少：△　25.6億
・費用削減施策効果はあるが、減収影響が大きく減益



＜その他＞　（ブラジル）

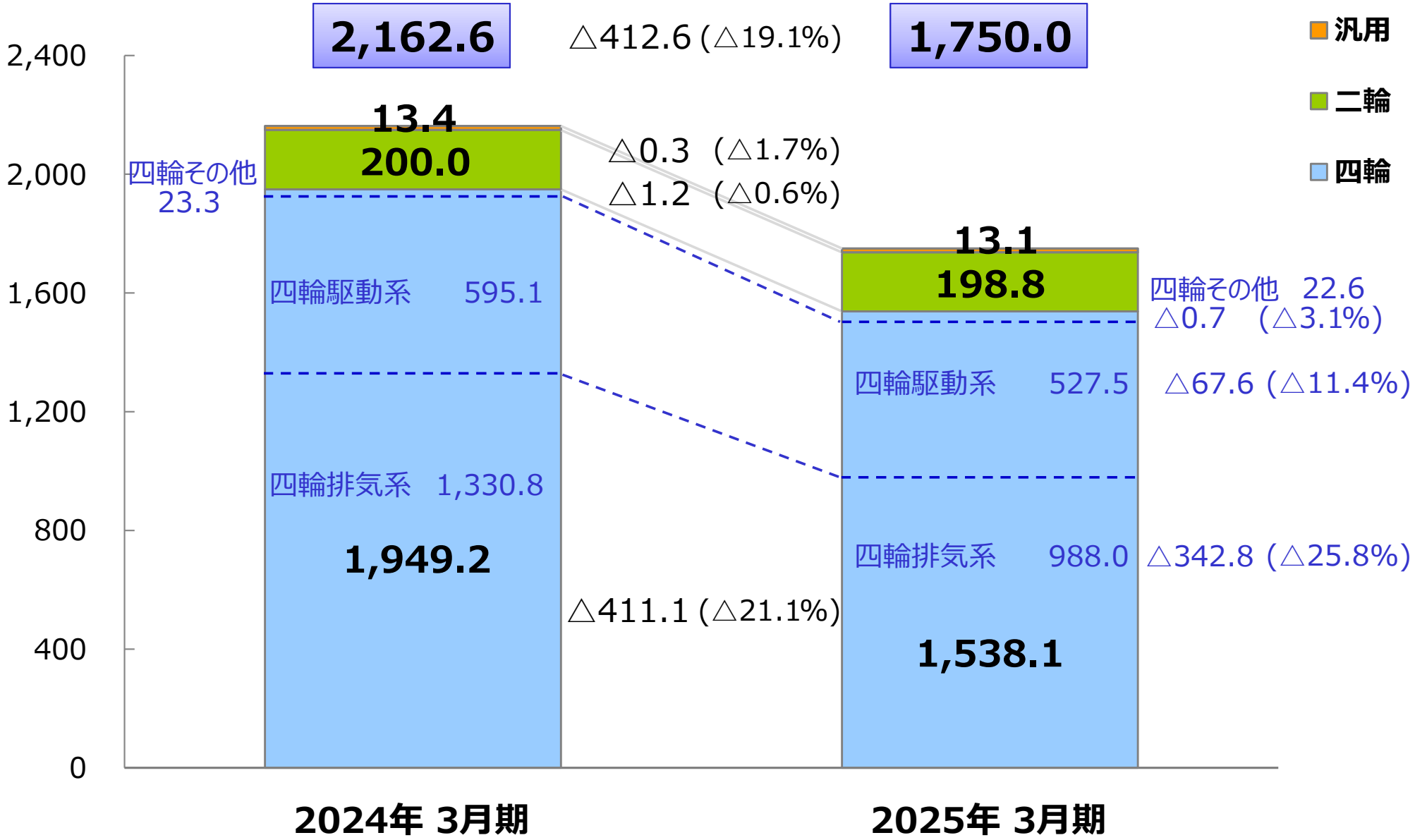
売上減少：△0.5億
・受注減により減収
利益減少：△2.2億
・減収影響及び
前期工場移転に伴う土地・建屋売却益がなくなり減益



全地域で減益となる見通し

25年３月期連結見通し 製品別売上収益

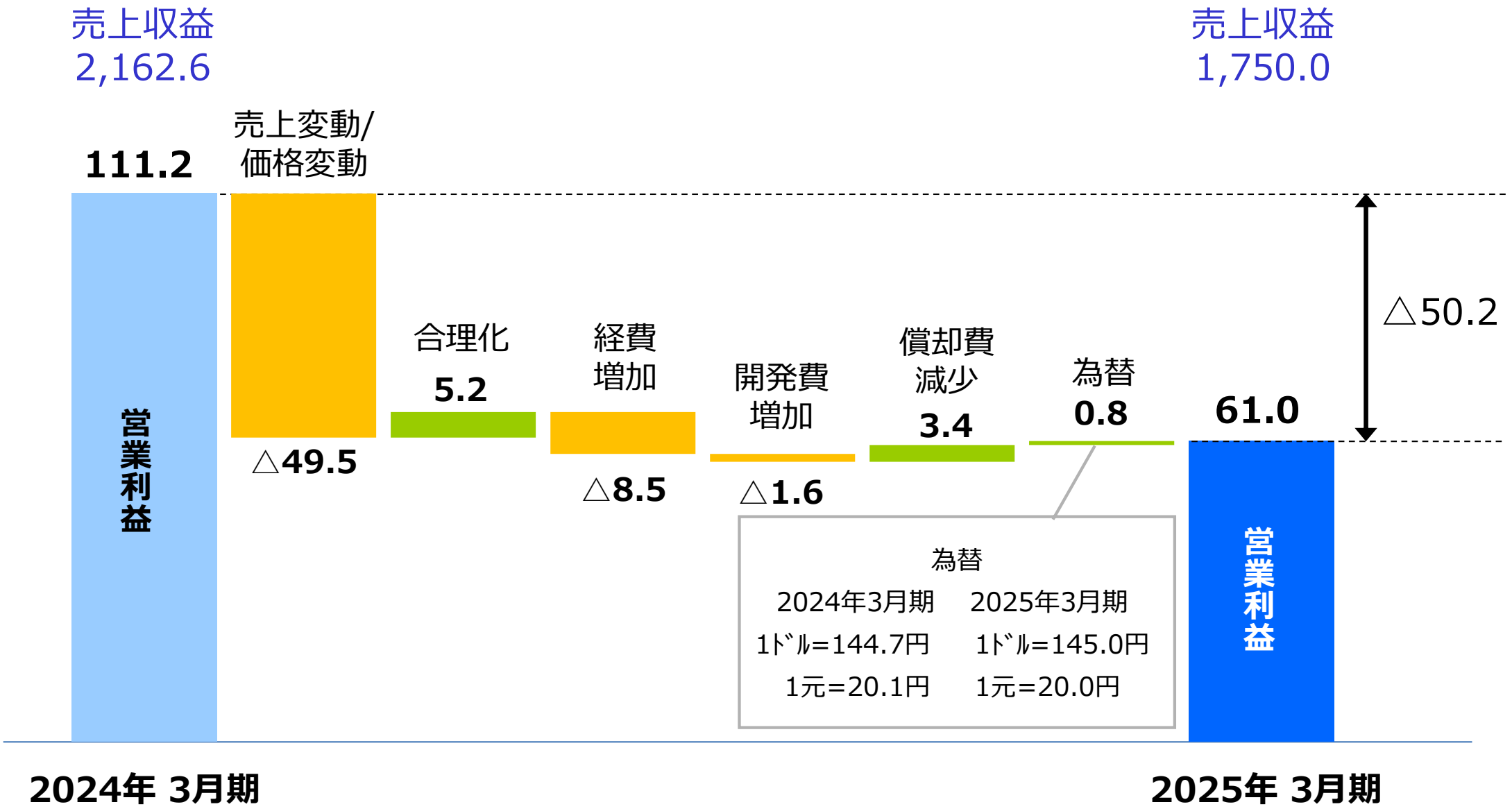
（単位：億円）



主に自動車部品四輪で減収となり、全体でも減収の見通し

25年３月期連結見通し 営業利益 増減要因

（単位：億円）



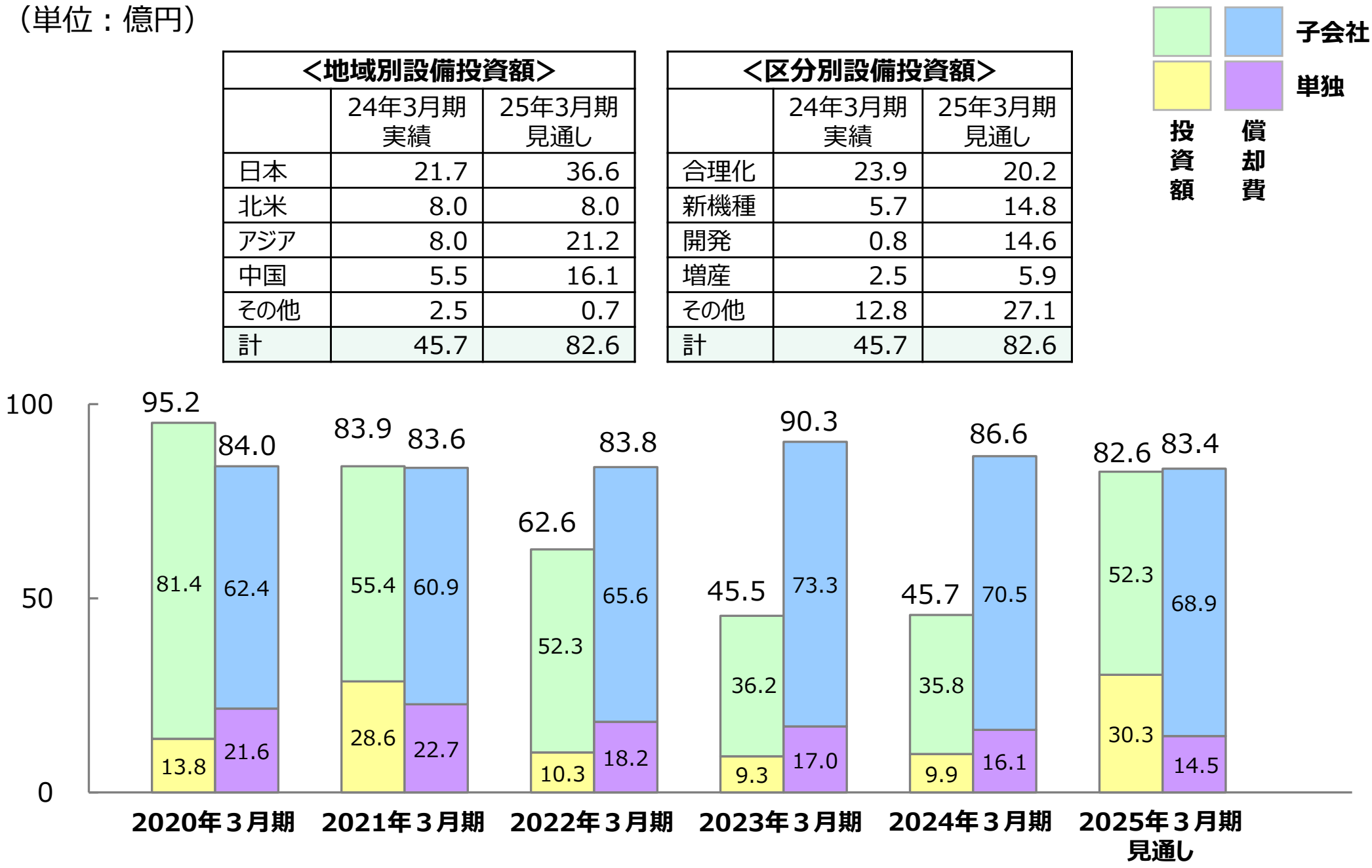
顧客からの受注減少や経費増加等により減益見通し

25年３月期連結見通し 設備投資額の推移

（単位：億円）

＜地域別設備投資額＞		
	24年3月期 実績	25年3月期 見通し
日本	21.7	36.6
北米	8.0	8.0
アジア	8.0	21.2
中国	5.5	16.1
その他	2.5	0.7
計	45.7	82.6

＜区分別設備投資額＞		
	24年3月期 実績	25年3月期 見通し
合理化	23.9	20.2
新機種	5.7	14.8
開発	0.8	14.6
増産	2.5	5.9
その他	12.8	27.1
計	45.7	82.6



単独は開発・技術領域投資が増加、子会社は新機種投資等が増加見通し

Ⅰ. 2024年3月期 決算概況

Ⅱ. 2025年3月期 見通し

Ⅲ. 事業概況

Ⅳ. TOPICS

事業概況_ 経営目標

経営目標 ～2030年ビジョン～

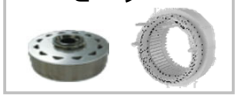
独自技術を強化拡大し
新しい時代に「期待される企業」となる

- *Yutaka*製品を世界のお客様に広め、地球環境に貢献する
- 電動化時代に向けて、新しい価値を生み出す商品を創造する
- 地域を越えて英知を結集し、グループの総合力を発揮する

経営戦略

排気/制動部品・電動車部品を事業の柱とし、環境・社会に貢献する

事業戦略

	四輪事業					二輪事業		新価値
事業方針	トルコン	モーター	排気(HOT)	排気(COLD)	熱マネ	二輪(COLD)	二輪(DISC)	SDG s 製品
								
	排気部品の拡販/電動化部品の基盤確立					二輪部品の拡販		事業多角化
事業軸	既存事業	ニーズに沿った提案力とコスト競争力で販路拡大/収益最大化						
	新規事業	電動化部品へ人的/投資資源を集中的に投入し、事業領域・販路の拡大						環境事業の創出
機能軸	提案力強化	技術力強化	販路拡大	廉価製法				

排気/制動部品・電動車部品を事業の柱とし、環境・社会に貢献する企業を目指す

事業概況_ 事業転換イメージ

優先事業として強力展開

制動系
Brake Systems
ブレーキディスク

モーター系
Motor Systems
ローターコンプ
ステーターコア

駆動系
Drive Systems
トルクコンバータ
ドライブプレート他

Clean for the Future
テーマは、人、地球、世界の未来です。

新価値商品
New Value Products
SDGs
Life Creation

排気系
Exhaust Systems
排気一貫システム

熱マネ製品
Heat Management
Device
EV用製品
住設向け製品

既存事業の拡大とモーター事業を優先に事業転換を図る

事業概況_ 第15次中期事業計画

第15次中期：2023年度～2025年度

経営戦略

排気/制動部品・電動車部品を事業の柱とし、環境・社会に貢献する

第15次中期事業計画

全社目標

全拠点黒字化

戦略テーマ

- 電動化時代をリードできる柱の創造
- 新価値商品の創造
- 主幹部品の収益性追求と販路拡大
- デジタルを基軸とした運営基盤強化
- *SDGs/Carbon Neutral* への挑戦

2024年3月期実績

- **モーター事業業容拡大**
  - ・中国・日本 積層Pilotライン導入
  - ・ASSY開発 テスト・試験機着手　など
- **新たな価値の創造に向けた新製品取組み**
  - ・BELT POWER テストマーケティング
  - ・小型モビリティフレーム 開発 など
- **既存事業 他販展開**
  - ・東風汽車向け サイレンサー量産開始
  - ・インドYAMAHA DISC 2機種獲得 など
- **サイバーセキュリティ強化/IoTシステム化**
  - ・セキュリティ 監視システム導入完了(EDR/SOC/SIEM)
  - ・IoT 稼働状況見える化・トレサビリティ管理強化 など
- **サスティナブル活動**
  - ・太陽光発電システム導入 など

全社目標・戦略テーマに沿って展開中

Ⅰ. 2024年3月期 決算概況

Ⅱ. 2025年3月期 見通し

Ⅲ. 事業概況

Ⅳ. TOPICS

事業概況_ 事業転換イメージ

優先事業として強力展開

② 制動系
Brake Systems
ブレーキディスク

① モーター系
Motor Systems
ローターコンプ
ステーターコア

駆動系
Drive Systems
トルクコンバータ
ドライブプレート他

Clean for the Future
テーマは、人、地球、世界の未来です。

新価値商品
New Value Products
SDGs
Life Creation

排気系
Exhaust Systems
排気一貫システム

熱マネ製品
Heat Management
Device
EV用製品
住設向け製品

①モーター事業業容拡大
②既存事業販路拡大
③サスティナブル活動

既存事業の拡大とモーター事業を優先に事業転換を図る

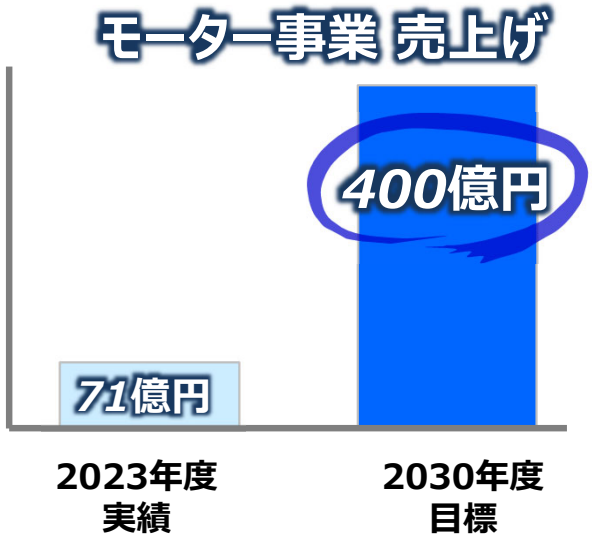
TOPICS① 電動化時代に向けた モーター事業業容拡大

目指す姿/方向性



これまでのMotor Core・Rotor COMPに加え、ステーターCOMP(巻線)加工など

あらゆる顧客ニーズに対応可能な ALL-Roundサプライヤー



前期実績

- 中国 積層工程 Pilotライン設置　24年2月導入済

量産実績・ノウハウ × 廉価設備・短納期

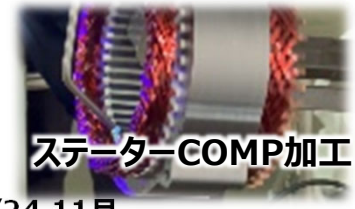


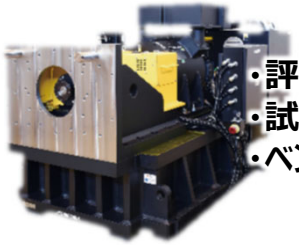
競争力
“低コスト”短納期”信頼性”

Challenge
- 現調(設備.金型.材料)
- 複数個取り
- 薄板化
- 高速加工　…

今期対応内容

- 日本 積層工程 Pilotライン設置-’24.12月
  … 更なる廉価提案・競争力強化
- 日本 ステーターCOMP Pilotライン設置-’24.11月
  … 業容拡大・技術手の内化
- 日本 モーターASSY 開発検証設備導入-’25年1月
  … 機能性含めた仕様提案





- 評価設備
- 試験機
- ベンチ

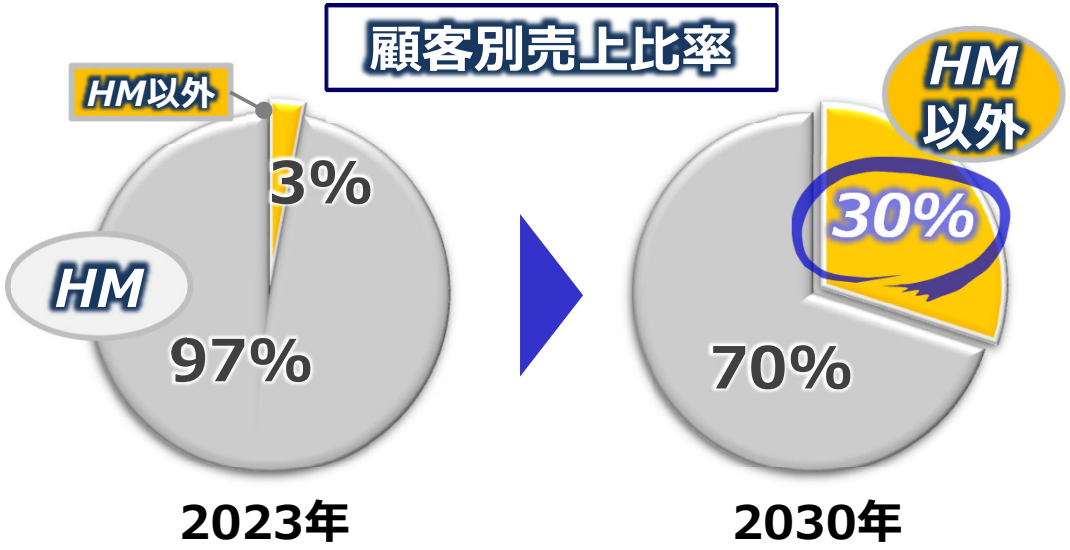


電動化時代をリードできる柱の創造を目指す

TOPICS② 既存事業販路拡大(4輪排気.2輪)

目指す姿/方向性

**“収益の柱を維持し、
電動化時代への体力堅守”**
として、既存事業の新規顧客開拓を展開中



前期実績

- 中国 東風 猛士 サイレンサー獲得

«猛士917»
2023年7月 量産開始





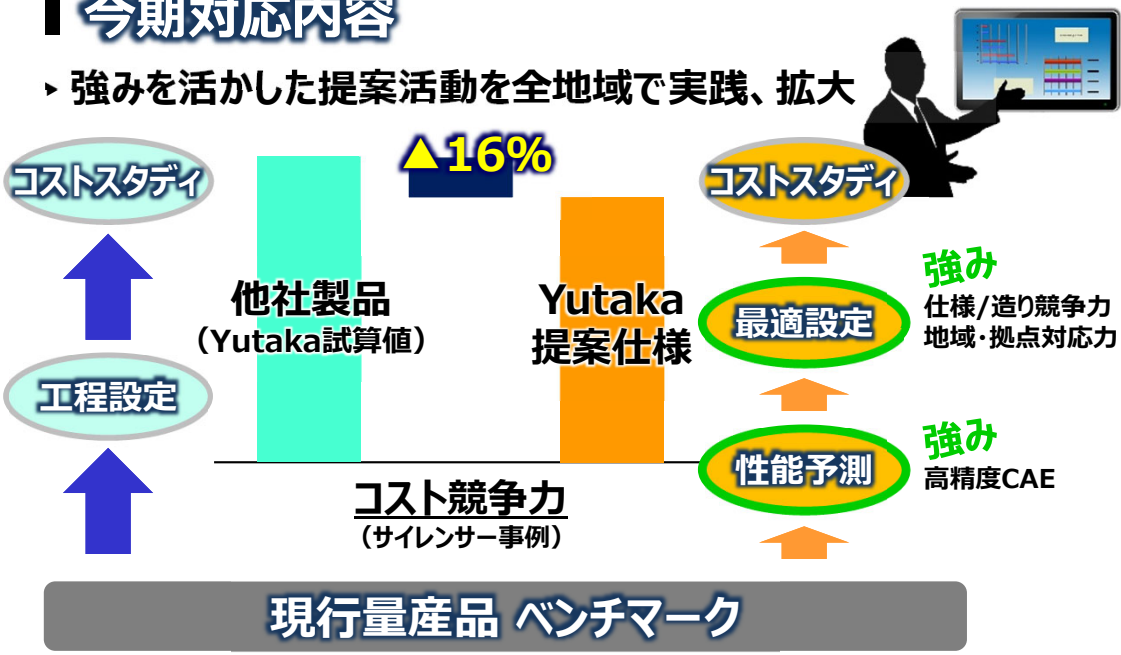
«派生2機種»
2024年･2025年 量産開始



- インド 他販DISC 2機種獲得

今期対応内容

- 強みを活かした提案活動を全地域で実践、拡大



主幹部品の収益性追求と販路拡大を目指す

TOPICS③ サスティナブル活動

目指す姿/方向性

気候変動や環境汚染、急激な都市化や社会格差の拡大など、私たちの生活の中では様々な社会課題が顕在化し、
企業による社会課題の解決に大きな期待が寄せられています。
Yutakaグループも中期事業計画の中で、カーボンニュートラルの実現や安全・安心な社会に貢献する商品・サービス開発など、
SDGsの視点を事業活動の中心に据えており、社会課題の解決に向けた取り組みを今後さらに加速させていきます。

前期実績

▸ **EV車導入**





▸ **太陽光発電システム設置**



▸ **風力発熱システム開発**



今後の取り組み

▸ **多様な人財が生き生きと安心して働ける職場環境を目指す**

・多様性を尊重し、時代に合った労働条件への対応
・新たな教育制度の実施

研修制度	月平均所定外労働時間	平均有休取得日数
	7.96時間	17.9日

正社員の有給取得率	男女の平均勤続年数		男女の育児休業取得率	
100%	男性 19年	女性 14年	22.7%	100%

新しい価値を創造し続ける企業として、更なる成長を続ける

次代を切り拓け
~Be a Game Changer~